

楽器の響きや演奏のニュアンスまで高い次元で再現。

ハイレゾからレコードまで、高品位に再生。ステレオプリメインアンプ「A-9150」を新発売  
～KAWAI ハイブリッドデジタルピアノ「NOVUS NV10」で採用された「Discrete SpectraModule」を搭載～



【A-9150(S)】

オンキヨー&パイオニアマーケティングジャパン株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:荒木 健)は、新開発のアンプモジュール「Discrete SpectraModule」を搭載し、楽器製作のノウハウを取り入れ高い音楽性を実現、さらに独立専用基板のフォノイコライザーを搭載することで近年人気が高まっているレコード再生に最適な、オンキヨーブランドのステレオプリメインアンプ「A-9150(S)」を発売します。

商品名	型番	モデル	希望小売価格(税別)	発売時期
ステレオプリメインアンプ	A-9150(S)	シルバー	62,000 円	7月上旬

近年ハイレゾ音源を始めファイルオーディオの再生が多くの方に親しまれるようになってまいりました。一方好きなアーティストの作品は CD で楽しみたいというニーズも根強いものがあります。またアナログレコードのブームが定着するにつれて、所有しているアナログレコードをもう一度、良い音で楽しみたいというニーズが高まっていることから、現代はこれまでに無い程幅広いオーディオソースで音楽を楽しむ時代になっております。A-9150 はハイレゾからレコード迄、バラエティに富んだオーディオソースを、高品位かつパワフルに再生する事を狙ったモデルです。A-9150 では、Onkyo R&D チームによる長年の動特性の追究により誕生した、アンプモジュール「Discrete SpectraModule」をメインアンプの増幅段に搭載。クリアな音像とリアルな音場再生を実現しました。同アンプモジュール及び DAC の後段に搭載されている「DIDRC フィルター」は、グランドピアノらしいナチュラルな音色(ねいろ)の再現度を評価され、河合楽器製作所(KAWAI)のハイブリッド・ピアノ「NOVUS NV10」に採用されております。

※「A-9150 に搭載されている Discrete SpectraModule 及び DIDRC フィルターは、Novus NV10 採用時に得た楽器のノウハウを取り入れてさらにオーディオ用にカスタマイズされたものです」

#### 【主な仕様】

##### 1) ハイエンドクラスの動特性を実現する新開発「Discrete SpectraModule」を搭載。

Onkyo ブランド長年の動特性の追究により誕生した、500V/ $\mu$  sec を超えるスルーレートとメガヘルツ帯域までフラットなリアリティを実現したディスクリット構成のアンプモジュール「Discrete SpectraModule」をメインアンプの増幅段に搭載。澄みわたる音場感や瑞々しい音像感と共に、演奏のニュアンスや楽器の音色、響きや余韻までもリアルに再現することで音源に込められた熱気までお伝えします。

##### 2) MM/MC カートリッジ対応、独立専用基板のフォノイコライザーを採用

MM/MC 両カートリッジに対応した、独立専用基板のフォノイコライザーを搭載。MC 部は幾度もの試聴を経て選別されたディスクリット構成のヘッドアンプを採用。さらに、MM/MC の切り替えスイッチを押し式ではなくリレー式とし、基板上の経路を短縮化。グランドラインのループを閉じてそれぞれ別々にアースをとる(閉ループ化)ことで、繊細なアナログ信号をより純粋に増幅することが可能になりました。名盤のポテンシャルを余す所なく再現します。

### 3) 電源強化によってパワーリニアリティを向上、安定感のある音楽再生を実現

電源強化によってパワーリニアリティを向上、安定感のある音楽再生を実現。パワーアンプ部はトランス巻線の強化やバスバー等を採用して電源を強化し、随時変動するスピーカーインピーダンスに対しパワーリニアリティを向上する事で高いドライブ力を実現。電源部には大容量の EI 型トランスや、カスタム設計の 10, 000  $\mu$ F 電解コンデンサーを 2 基搭載。電源コンデンサーからパワートランジスタまでを銅バスプレートで接続することにより、低インピーダンスで強力な電源回路を実現しています。また熱容量が大きく、熱的变化にも強いアルミ押し出しタイプの大型ヒートシンクを採用。放熱への対処も徹底しました。これらのこだわりが、安定した動作環境を生み出し、音楽情報の細やかなニュアンスまで描き出す、ハイレベルなスピーカードライブ能力に結びついています。

### 4) 高性能 768kHz/32bit DAC 及び DIDRC フィルター搭載

A-9150 にはデジタル入力(光2系統、同軸2系統)を装備。DAC には高性能 768kHz/32bit デバイスを搭載。音楽情報を漏らさずアナログ信号に変換し、音源の魅力を存分に引き出します(192kHz/24bit 対応)。加えて D/A 変換後に発生する高周波ノイズを除去し、従来のローパスフィルターでは対応できなかった可聴帯域外からの混変調ノイズを根本的に抑制する Onkyo 独自開発のフィルター回路、DIDRC フィルターを搭載。音の「かたさ、デジタル臭さ」につながるデジタル音源特有のノイズから解放された、滑らかで豊かな音楽再生を実現します。またアナログ信号入力時は、デジタル入力回路の電源をオフしアナログ回路への干渉を遮断します。

### 5) 1.6mm厚のフラットシャーシーをはじめとするこだわりの筐体構造

音質に悪影響を及ぼす高調波振動を抑制するため、凹凸のないフラットシャーシーを採用。厚さ 1.6mmの鋼板を使用し、極めて高い剛性を確保しています。フロントパネルやボリュームノブにも制振性に優れたアルミ素材を選択するなど、電気回路の改良のみでは追い込むことのできなかったカラーレーションの排除を押し進め、よりピュアな音色を再現します。

### 6) 高品位な信号伝達を可能にする端子群

RCA 端子は伝送ロスを抑えるために、金メッキ仕様を採用。スピーカーターミナルには、バナナプラグにも接続できるネジ式を採用しています。電源部には IEC 規格の AC インレットを装備。音色のお好みに合わせて付属ケーブルから市販ケーブル※への交換も可能です。※安全のため PSE マークが付いた電源ケーブルをご利用ください。

### 7) その他の仕様

- ボリュームノブ周りの強度を強化し不要な振動を抑えることで、クリアな音質を実現
- 独自開発の低音増強技術 Phase Matching Bass Boost を搭載。ヴォーカルが曇らない、豊かな低域とクリアな中高域の両立を実現
- 小音量でも豊かなサウンドを実現するオブティマム・ゲイン・ボリューム
- トーン回路をバイパスする事で信号経路を短縮し、よりピュアなサウンドを再生できるダイレクトモード
- トーンコントロール(BASS/TREBLE)
- バランスコントロール(BALANCE)
- スピーカー出力切り換え機能(A/B/A+B)※
- オンキヨー製 CD プレーヤーなどの主要操作が付属リモコンで可能な RI 対応



※AB いずれかの端子への接続には4~16  $\Omega$ のスピーカーに対応しますが、AB 両端子に同時接続される場合は8~16  $\Omega$ のスピーカーをご使用ください。

## 【主な仕様】

型番	A-9150(S)
定格出力(JEITA)	4Ω時:60W+60W(20Hz-20kHz, 0.08%以下THD、2ch駆動時) 8Ω時:30W+30W(20Hz-20kHz, 0.08%以下THD、2ch駆動時)
実用最大出力(JEITA)	90W+90W(4Ω、1kHz、2ch駆動時)
全高調波歪率(JEITA)	0.08%(20Hz~20kHz、定格出力時)
周波数特性(JEITA)	10Hz~100kHz/+1dB、-3dB(LINE1、DIRECT)
S/N比(JEITA)	107dB(LINE、IHF-A)、82dB(PHONO MM、IHF-A)、73dB(PHONO MC、IHF-A)
トーンコントロール最大変化量(JEITA)	±10dB/100Hz/(BASS)、±10dB/10kHz/(TREBLE)
スピーカー適応インピーダンス	4~16Ω(A or B)
適応カートリッジ	MM/MC
PHONO 最大許容入力	70mV(MM、1kHz、THD、0.5%)、7mV(MC、1kHz、THD、0.5%)
消費電力(電気用品安全法技術基準)	130W
待機時消費電力	0.1W
最大外形寸法(W×H×D)	435mm × 139mm × 331mm
質量	9.2kg
付属品	リモコン(RC-959S)(1)、乾電池(単4形、R03)(1)、電源コード(2m)(1)、取扱説明書(1)、保証書(1)

※ 詳しい製品情報は以下の製品のホームページをご覧ください。

<http://www.jp.onkyo.com/audiovisual/audiocomponent/amplifier/a9150/index.htm>